

下水道展'22 東京 併催企画

下水道展'22 東京、コンサルタントにおける脱炭素の取り組み講演会開催報告

対外活動委員会／委員長

(株式会社日水コン／地域統括本部／東部統括部／東京支所／支所長)

吉成大悟



1. はじめに

2022年度下水道展が8月2日から5日の4日間、東京ビッグサイトにて開催されました。

今回の下水道展は開催時期、コロナ禍の第7波の最中でしたが、主催者の感染対策の努力もあり最終的には、盛会での開催となりました。

水コン協も展示ブースの出展、学生向けイベントの開催と、8月5日に併催企画「コンサルタントにおける脱炭素の取り組み」講演会を開催いたしました。

併催企画につきましては、「水コン協HP」にてYouTubeによるアーカイブ配信を行っております。

今回の併催企画は対外活動委員会の活動の一環として開催され、委員長である私が司会進行を務めさせていただきました。対外活動委員会は下水道展水コン協ブースの運営にも取り組んでいます。ここでは対外活動委員会の活動の一部について紹介させて頂き、本シンポジウムの概要を報告させていただきます。



図-1 協会HPでアーカイブの配信中

2. 対外活動委員会の下水道展の取り組み

対外活動委員会は「対外活動小委員会」「下水道展小委員会」「品質確保WG」「地域循環に関する産学協同研究WG」で構成されており、委員会の所掌する課題を検討・解決するために活動を行っています。

今回も委員会活動の一環として、下水道展小委員会と共同で水コン協ブースの運営に協力いたしました。

下水道展会場では、対外活動小委員会で作成した動画を以下のパートで使用しました。

■水コン協ブースに来場した学生向け

「水コンサルタントになろう！ 仕事内容編」

■会場モニターにて流した動画

「水コンサルタントになろう！ 仕事内容編」

「水コンサルタント紹介動画 SDGs編」

「水コンサルタント紹介動画 下水道編」

「水コンサルタント紹介動画 上水道編」

■下水道展オンラインにて出展

「水コンサルタント紹介動画 下水道編」

「水コンサルタントになろう！ 仕事内容編」



図-2 最新動画「水コンサルタント紹介動画SDGs編」

これらの動画は、会場で非常に好評で、学生向けイベント「水コン協カフェ」でも、大学生に業界を知ってもらう良いツールになったと思います。

水コン協カフェについては参加者アンケートで「参加して良かった」と前向きな意見を多数頂くことが出来ました。



図-3 学生向け・オンライン 水コンサルタント紹介動画仕事内容編



図-4 会場・オンライン「水コンサルタント紹介動画 下水道編」

対外活動小委員会ではこれまで以下の動画を作成しております。

表-1 水コン協チャンネル動画一覧

タイトル	公開日
水コンサルタントになろう	2017/8
水コンサルタント紹介動画 水道編	2021/4
水コンサルタントになろう！仕事内容編	2021/7
水コンサルタント紹介動画 下水道編	2021/7
水コンサルタント紹介動画 SDGs 編	2022/7

上記動画については、YouTube「水コン協チャンネル」で公開しております。会員の皆様の業界PR活動に是非ご活用ください。また、今後は現在刷新予定の協会パンフレットやポスターにQRコードを貼るなど工夫してアクセス数を増やしていく検討を行っております。

本委員会では広報活動として、動画以外にも前述したパンフレット、ポスターの更新、書籍等の検討を行い、市民、学生向けに活動を行っております。

3. シンポジウムの開催報告

(1) シンポジウムの概要・集客対策

日時：2022年8月5日金10：00～12：00

場所：東京ビッグサイト 会議棟 607・608 会議室



図-5 下水道展HP上での告示

参加者の内訳は以下の通りです。

併催企画の告知は下水道展HPの設計・測量ゾーンに掲載を行いました。参加申し込みは定員（160名）一杯で、参加者は以下の通りとなりました。

表-3 併催企画参加者の内訳

併設企画参加者の内訳	
➤ 省庁・研究機関・教育関係者・団体等	3名
➤ 都道府県等	22名
➤ 会員会社	30名
➤ 一般企業	26名
➤ 学生	2名
➤ 一般	9名
➤ 来訪者合計	92名
➤ 関係者	17名
➤ 合計	109名

(2) シンポジウムの進行

シンポジウムは以下のように進行了ました

◆10：00 水コン協 間山 一典会長挨拶



◆講演1 10：05～10：55

「脱炭素社会の構築に向けた下水道イノベーション」



東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 特任准教授 加藤 裕之 氏

◆講演2 10:55~11:25

「下水道における脱炭素化に向けたアプローチ手法」



(株) 日水コン 下水道事業部東部事業マネジメント部
チーフエンジニア 天野 猛 氏

◆講演3 11:25~

「下水処理場のエネルギー自立に向けたとりくみ ~海外事例を踏まえて~」



(株) NJS 東京総合事務所環境マネジメント部 プリンシ
パルエンジニア ムハンディキ ビクター 氏

会場はご覧の通り盛況となりました。



4. おわりに

講師の皆様には、長時間に渡る御講演、またお忙しい中資料の取りまとめありがとうございました。

脱炭素社会の実現は、地球温暖化による気候変動対策として、国の喫緊の課題となっています。

下水道事業においても温室効果ガスの削減に取り組み、地域の脱炭素社会の実現に貢献していく必要があります、下水道の持つエネルギー・資源の有効活用は日々注目される検討課題となっています。

このような状況で、本シンポジウムは非常にタイムリーであり、参加した皆様のお役に立てたものと考えております。

また、講師の皆様には講義終了後も、多数の質疑に、御対応頂きありがとうございました。参加者の関心の高さを感じた次第です。

最後に、本シンポジウムの企画、準備、運営にご協力頂いた皆様に、誌面をお借りしまして、深く感謝申し上げます。

来年以降も、皆様のお役に立てる企画を考えていきたいと思っております。

次回下水道展は北海道開催となります。対外活動委員会、下水道展小委員会では北海道支部と協力して下水道展出展を成功させるよう準備を進めていく予定です。

今回はオンライン展示において動画を置きましたが、それ以外にも、オンラインで学生との意見交換等、北海道開催でありながら北海道以外の学生に対してもアピールできるような内容に取り組む等様々なアイデアがでております。

引き続きご協力の程、よろしくお願い申し上げます。